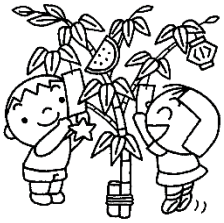
園だより



令和３年７月１日

社会福祉法人新田保育園
園長　野村　陽子

『学びを止めない』

６月 23 日から２泊３日、５歳児ぞう組が飯能合宿を無事、体験することができました。次は４歳児りす組が、１泊２日で保育園合宿を行う予定です。コロナ禍という不安な中で、園の方針を理解し協力していただいた保護者の皆さまの存在は、私たちにとって厳しい状況を乗り越えていく力となりました。心より感謝いたします。合宿での出来事や各年齢の様子は、７月中旬に発行される『どてのこ』（実践記録のおたより）をご覧ください。

さて、私たち新田保育園職員が所属している保育関係団体では、６月から学びの機会が増えます。4・5 月保育園に慣れた子どもたちが、より成長できるよう研修を行います。園内研修はもちろんですが、園外に出て学ぶことは、他園の情報や新しい保育を取り入れる機会となります。6 月 12 日・13 日・20 日と全国規模の研修会が ZOOM で行われました。『あそび・身体づくり・食事・文学・美術・音楽・科学・障害児保育・異年齢保育・集団作り（幼児保育）・乳児保育他』様々な分野に分かれ、新田保育園からも 24 名の職員が参加し学んできました。その中の乳児保育部会で、2017 年から、野口・佐藤・金田・濱本が、専門家や他園の保育者と重ねてきた研究を発表し意見交換しました。研究は、保育所保育指針の『“愛着”とは何か』『一人ひとりていねいにとはどういうことか』という地道な保育実践を分析し、研究者と共に理論立てた内容です。しかしそれらの理論が、覆されることがあるのも実践研究のおもしろさです。

先日、園で受け入れた保育実習生が「私は今まで、話が聞けない子に対して“話を聞きなさい”けんかする子に対して“けんかはしないで”と言っていました。でも新田保育園の先生たちは、それらの姿に対して、どうしてその行動をするのか、保育者はどう関わればいいのか、どのような環境がよいのかを考えていました。だから今までの実習の中で、新田保育園での子どもへの声かけが、１番難しかったです」と、言っていました。

その言葉に、だから学び続けなければいけないし、実践を出し合い伝え合わなければいけないという思いを強く持ちました。

下記の日程にもありますが、７月 17 日（土）は、前期の保育総括会議です。主任を中心に、各クラス・各分野で４月から６月までの保育を振り返り、今後の保育に活かすため ZOOM 会議を行ないます。コロナ禍でも『学びを止めない』それは、新田保育園で引き継がれてきた理念でもあります。　（文責　濱本昌子）

●令和２年度の決算が、理事会評議員会の承認を経て成立しました。玄関に展示しています。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
7月		4歳児りす組合宿・熱中症指導（5歳児）	→		熱中症指導（3歳児）	健康体育	誕生会・写真の日	避難訓練	就学前連絡会・運動会集会				プール開き	健診（0・2歳児）	熱中症指導（4歳児）		前期保育総括会議			運動会集会											